

誰も
ひとり
孤立にしない
まちをつくる!

練馬・生活者ネットワーク
練馬区議会議員

やまさき

山崎 まりも



Instagram



Facebook



X



公式サイト

練馬・生活者ネットワーク山崎まりもの活動を紹介します。

生活者ネットワークの 提案と取り組み



地域福祉

●在宅介護を支える地域の介護事業所への支援充実
●介護人材の確保・育成・定着事業の拡充●「いきがいデイサービス」や「食のほっとサロン」など食を介した介護予防事業の拡充●区独自の実態調査実施や検討組織の設置などヤングケアラーの実態把握と具体的な支援

子育て支援、子どもの権利、教育

●練馬区全中学校での助産師を講師にした包括的な性教育の実施●公立小中学校の男女混合名簿の採用●義務教育無償化の一環としての学校給食無償化●学用品や社会科見学など、公費負担の拡大●多胎児育児の支援拡充

環境、エネルギー

●区立施設への再生可能エネルギー導入●容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収・資源化●マイボトル対応給水機の増設とペットボトルのない自動販売機の設置●「香害」啓発リーフレットの作成、公共施設に配置、区立小中学校での活用

防災・減災、まちづくり

●女性防災リーダーの育成・配置など防災・減災対策
●都市計画道路や公園整備計画、まちづくりなど、地域住民と連携した取り組み

平和

●憲法の人権理念に基づく男女共同参画推進。多様性を認め合う社会にするための啓発

練馬・生活者ネットワークのルール

1. 議員を職業化せず、特権化しないために、議員はローテーション(交代)します。
2. 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

◎カンパを募集しています。

カンパ振込先【郵便振替】00100-6-398010 練馬生活者ネットワーク

練馬・生活者ネットワークニュースNo.167 2025年8月1日
発行 練馬・生活者ネットワーク 発行責任者 君垣圭子
〒176-0001 練馬区練馬1-15-1-302
TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632
webページ<http://www.nerima-net.gr.jp>
メールinfo@nerima-net.gr.jp



▲ご意見はこちら



山崎まりもが伝えたい これからのこと

原点は子どもの頃(40年くらい前!)、父に連れられて環境のイベントで東京都が出すごみで埋立地もすぐにいっぱいになる、燃やすと有毒なガスが出るビニールの話など聞き、「どうしよう」「何で大人は土に還らないものを作り続けているの」「大人は子どものことを全然考えていない!」と怒って疑問を持ち続けていたこと。

大人になり、子育ても経験し、今、原点に振り返るのは当時の小さな私の問いに答えていくこと。子どもの頃感じたことは今となっても間違っていないと思っています。

だからこそ、私にとって、今の子どもたちの声を聞きながら進んでいくことは最も大切にしていきたいことなのです。世界で分断が進み、戦争が絶えない今「戦争をなくす方法はないのかな」そんな声も子どもから、そして大人からも聞こえてきます。

あらゆる課題に対しての解決の糸口はやっぱり「対話を重ねていくこと」しかありません。さまざまな分野、立場、世代の方と対話をしながら、着地点を共に探っていく。そんな場をつくりながら、対話する力をつけ、みなさんと一緒に「誰もが私らしく生きられる社会」の実現に向けて活動していきます。



山崎まりものプロフィール

●1976年生まれ●99東京家政大学栄養学科環境情報専攻卒。在学時は地球環境サークルに所属し、環境NGOエコ・リーグ(現NPOエコ・リーグ)でキャンパスエコロジー活動に携わる。都内出版社勤務を経てフリーライター●2002-09年特別養護老人ホーム勤務●09-12特定非営利活動法人むすびケアメンバー●16-22生活クラブまち練馬北運営委員長などを経て理事●20少年野球チームの父母会会長●20地域で子ども食堂を立ち上げる●21地域で放課後の居場所づくりに携わる●22区立小学校保教の会副会長●22練馬・生活者ネットワーク政策委員●23練馬区議会議員に初当選●25.6生活者ネットワーク幹事長

山崎まりもが 取り組んできたこと

2023年5月から、練馬区議会議員としてできることを、ひとつひとつ取り組んできました。練馬区に子どもの権利条例を、不登校の子どもたちの居場所、地域の福祉問題、まったなしのプラごみ削減問題…。まだ選挙権のない子どもたちのことも考え、声をききながら決めていく。それはきっと大人にも希望が持てる社会になるはずです。誰かがつくった計画に乗せられるのではなく、市民の想いと自らの手でつくっていくまち・練馬で暮らしていきませんか？



詳細はQRコード
からHPへ！



地域から平和を発信



●毎月9日に練馬駅前
で、生活者ネット9条の会
の「9条スタンディング」に
参加。「戦争はしない、原
発はいらない」の横断幕
をかかげ、地域から平和
を訴えています。

●「非核都市練馬区宣言」をもっと区民に周知することを
要望。

環境をまもる



●使い捨てプラスチック削減の
提案 ●練馬区のイベント・企画
でプラスチックではないグッズ使
用の要請 ●脱原発、再生可能エ
ネルギー活用の推進 ●グリーン
インフラの推進。区民も関われ

る、雨庭の提唱 ●小学校で短い期間しか使用しない、
算数セットのような教材の備品化 ●子どもたちとともに
練馬の川の水質調査などを行っています。



子どもたちの声を、未来への政策に



●日本を含む世界196の国や地
域が批准している「子どもの権利
条約」。練馬区でも子どもの権利
条例を制定するよう求めています。
●2025年より、包括的な性
教育が区内すべての中学校で開
始。生活者ネットワークが求めて
きた授業が練馬の子どもたちに
届けられるようになりました。現

時点では、年に一度、中学2年生のみ。対象の学年など
今後も拡充を求めています。

●中学校の部活動地域移行に伴い、放課後の生徒の居
場所の拡充が急務です。調査・聞き取りを行いながら、
中学生専用の居場所設置を求めています。

●不登校の子どもたちや保護者が孤立しないことが重要。
子どもの居場所はもちろん、親も話ができる場所の必要
性について聞き取りを行っています。

●区の子ども食堂への支援金は、食堂の「運営・人件費」
は対象外。引き続きそれぞれのコミュニティ食堂が持続
可能な活動ができるよう、支援を求めています。

●地産地消で「オーガニック給食」を提供できるしくみを
模索。練馬区保健給食課や
農家の方などに聞き取りを
などを行い、練馬区で「オー
ガニック給食」実現に向けて
活動しています。



安心して暮らせるまちに



●災害時のマンショントイレ問題
について調査。避難拠点の防災
訓練や都立光が丘公園の防災
機能の見学会開催、マンションの
管理組合が行う「地震講座」など
に参加し、区民の要望などを聞き
取っています。●稲荷山公園整

備計画や道路問題、石神井公園駅再開発などについて
は、区は計画ありきで進めず、地域住民の意見を丁寧に
聴くように求めています。

ささえあいの地域福祉支援



●「困難な問題を抱える女性を
支援する法律」に基づく具体的
な事業の提案 ●訪問介護採用
応援補助事業の対象拡充を求
め、学生も対象となりました。

●障害がある方の移動支援に
ついての拡充。

●ひとり親家庭ホームヘルプサービスの拡充など、ニー
ズに応じた支援拡充を区に求めています。